

2008 年度

科目名 社会福祉論	対象学科・学年 薬学部 3 年生	担当者 農野 寛治
授業テーマ 社会福祉の意義と制度・方法を学ぶ		
授業の概要と目標 日本国憲法第 25 条に規定された「生存権及び国民生活の社会的進歩向上に努める国の義務」に基づき、わたしたちの社会では、社会保障、社会福祉、公衆衛生などの制度がおかれている。そして、現在ではわたしたちの生活の質の向上に伴い、福祉のニーズは広がりつつある。この授業では、福祉問題の理解と社会福祉制度の意義、その対応について学ぶことを目的としている。		
評価方法 出席、授業態度、定期試験の成績により評価する。		
テキスト やわらかアカデミズム・〈わかる〉シリーズ『よくわかる社会福祉』	著者 山縣文治編	出版社 ミネルヴァ書房
参考書	著者	出版社
授業スケジュール・内容 ① 社会福祉の視座／何が福祉問題か？ ② 社会福祉の歴史的展開／恩恵、慈善、社会事業、社会福祉、ウェルビーイングへの変遷 ③ 少子高齢社会の社会福祉問題／年金、介護、医療、そして人権擁護 ④ 社会福祉の仕組みと運営（１）／社会福祉の法律と行政 ⑤ 社会福祉の仕組みと運営（２）／社会福祉の機関と施設 ⑥ 社会福祉の仕組みと運営（３）／社会福祉の財政と利用システム ⑦ 公的扶助／最低限度の生活を保持するためのセーフティネット ⑧ ソーシャルワークの視座（１）／ソーシャルワーカーの 2 つの視座 ⑨ ソーシャルワークの視座（２）／エコロジカル・アプローチの理解 ⑩ 社会福祉の専門職／専門職制度の概要 ⑪ 医療ソーシャルワーカーの仕事／他専門職との協働 ⑫ 福祉サービスの評価と苦情解決／権利侵害の防止のために ⑬ 自立という価値／自立支援計画の策定 ⑭ 福祉と医療／高齢者・障がい者の生活支援 ⑮ 福祉と薬／子ども虐待の事例から		